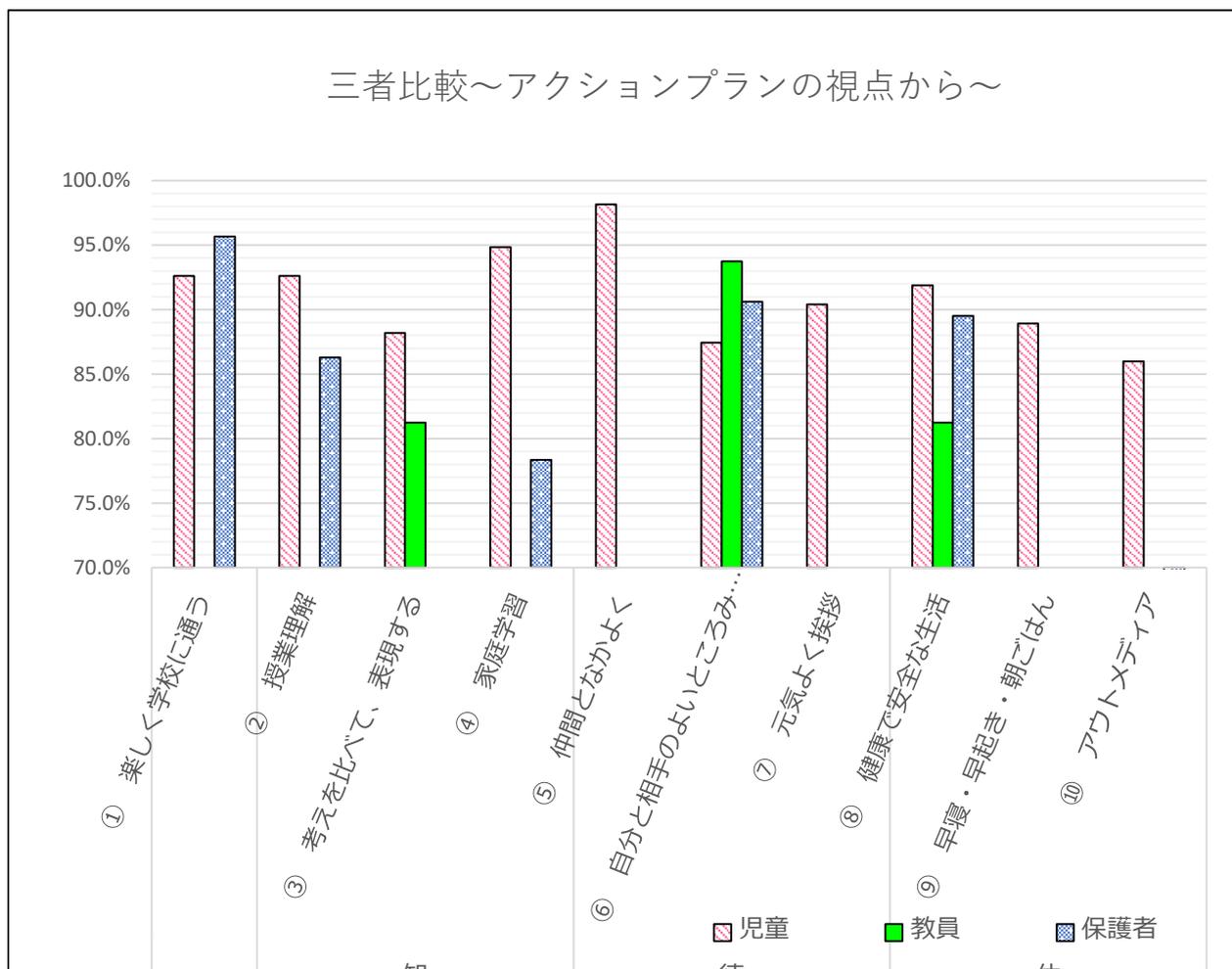


R5 7月学校評価

		児童	教員	保護者
知	① 楽しく学校に通う	92.6%		95.7%
	② 授業理解	92.6%		86.3%
	③ 考えを比べて、表現する	88.2%	81.3%	
徳	④ 家庭学習	94.8%		78.3%
	⑤ 仲間となかよく	98.2%		
	⑥ 自分と相手のよいところみつけ	87.5%	93.8%	90.6%
体	⑦ 元気よく挨拶	90.4%		
	⑧ 健康で安全な生活	91.9%	81.3%	89.5%
	⑨ 早寝・早起き・朝ごはん	88.9%		
	⑩ アウトメディア	86.0%		65.3%



【成果】

- ①「楽しく学校に通う」と回答した児童や保護者が多く、共に90%を超えている。
- ②「仲間となかよく」と回答した児童が90%を超えている。休み時間等、互いに声を掛け合って仲良く遊ぶ姿が多く見られた。また、「自分と相手のよいところみつけ」では、教員、保護者ともに90%を超えている。
- ③家庭学習は、児童が90%を超えていて、家庭学習週間等の全校での取り組みの効果があったと考える。しかし、保護者の評価は80%を下回っている。今後は、取り組み方や家庭学習内容について全校で話し合い、取り組みの効果を上げていく。

【改善点】

- ①「考えを比べ、表現する」の項目の評価が児童、教師共に80%を超えているが、今後は考えを深めるための効果的な支援を教職員間で模索していく。
- ②「自分と相手のよいところみつけ」では、教員、保護者ともに90%を超えているが、児童の評価は少し低い。教員や保護者からは、児童の自分や相手のよいところみつけをしている場面を具体的にとりあげ、褒め、認めるなどして児童が「自分と相手のよいところみつけ」をしていることの認知を高める必要がある。
- ③「アウトメディア」の項目について、保護者の評価が80%を下回っている。SNS等の正しい使い方や家庭のルール等を振り返る機会を促すとともに、中学校区の中学校、小学校合同でのアウトメディア習慣の取組の強化をしていく。